

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2021年 6月 8日

公表: 令和 3年 6月 30日

事業所名 児童発達支援センターまーぶるの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		多機能センターのため、建物全体の共有スペースも活用して収納場所の確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	法人内で運転手の応援を受ける場合もあります。	消毒や送迎に時間がかかり、職員が手薄にならないよう、運転手や消毒を主に担う応援職員の配置を検討しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	扉が多いため、鍵をかけ、衝立を置いています(子どもの刺激となるため)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	優先して挙げたいケースなどは、事前に検討日を知らせ時間を作るようにしています。	毎回はそのような時間がとれないが、定期的に行えるよう設定したいです。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		今回の聞き取り調査により、初めて聞くことができました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		今回の聞き取り調査により、初めて聞くことができました。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		法人として概ね3年に一回取り組んでいます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		自閉性特性シートを使えると良いと思っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	親子クラスに関しては、3つとも設定しています。単独クラスは必要項目。優先課題を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1		常に意識はできていないため、定期的会議の中で確認し合う時間を設けていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		現場の職員全員で話し合いのうえ決めています。火曜午後、職員打ち合わせを行い、月のカリキュラムを検討する時間をもっています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		お子さんたちの課題に応じて設定しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1		中間評価にて、状況に応じて計画を作成していきます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		送迎によりできていない時は、伝達事項として日誌を使用していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	送迎や片付けなどに追われ職員全員での振り返りは困難ですが、作業の合間に、気づいた点などを話し合っています。	振り返りをより共有できるよう、日誌などにのこすなど工夫をしたいと思います。もっとその時間がとれると良いと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			まだ事例はありませんが、その際にはそうします。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		子ども部会に参加し、情報交換を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		親御さんに確認をした書面を持参のうえ、訪問しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		今後もそのようにして参ります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		定期的に面談を行っています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	先日、通所している児の親向けに勉強会を行いました。	現在は個別に話すのが中心のため、今後取り組んでいきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	2		ガイドラインの説明まではできていなかったため今後行います。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		あり方を模索しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	コロナの影響により行えていません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		避難後のうごきが定められていないため、そちらを今年度は作成します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		視覚的に流れを伝えていきます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2		非常勤職員にも情報が行き渡りやすいよう、一覧表を作成します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	法人職員研修で虐待防止のテーマを位置づけています。	非常勤職員向けの学習会も企画していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		書面を作成し、管理者(虐待防止マネージャー)の確認とともに、職員は回覧しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

2020年度(令和2年度) 児童発達支援センター まーぶるの森

【児童発達支援】 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：2021年6月30日

事業所名： 児童発達支援センターまーぶるの森 保護者数(児童数) 29 回収数 20 割合 68.9%

◎この「保護者からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。

	チェック項目	①はい	②どちらともいえない	③いいえ	④わからない	<ご意見> ①=「はい」に対するご意見 ②=「どちらともいえない」に対するご意見 ③=「いいえ」に対するご意見 ④=「わからない」に対するご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備 適切な支援の提供	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	18	2			②外(庭)がもっと広いと良いなあと感じました。 ②サーキット活動のような動きまわる活動の時に、もう少し広い空間があるとより良いな…と感じました。(安全面と密を防ぐ点)	親子クラスでは親御さんも入るために、狭さを感じることは事実です。当面の重点課題として活動スペースの拡充のために努めていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	19	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	17	1		2	①わかりやすい環境づくりができており、子供の戸惑いが軽くなり楽しんで取り組んでいると思います。 ②おもちゃの棚、本の棚を出したり片付けたり、やることによって空間を変えようとしているのと思うが、先に準備されていて、違うことをやらなければいけないのに気を取られてしまうなど、子どもが混乱する場面はあった(例えば手を洗いに行かなければいけないのに目に入ってしまうと言うことを聞かない)	環境設定プラス絵カードや写真カードでの提示により、今なにをすべきなのかが分かるように示していきます。どちらにせよ一朝一夕で身に付くものではなく、お子さんがその意味を理解しスムーズに動けるようになるまでには積み重ねの時間が必要となります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	20					
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	19	1			①子供と親の意向を尊重していただき特性に合った目標設定をして頂いていると思います。 ②制作活動やサーキットなど作業療法的な内容は充実していたが、言葉の遅れに対する言語療法がよくわからなかった。	言葉の遅れのあるお子さんには言語療法的な取り出し学習ではなく、活動の中で代弁して伝えること、状況の実況中継をして言葉の表現を意識的に行うことで取り組んでいます。今後はより分かりやすく、言葉あそびの活動も入れていきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16			4		未就園の親子クラスのお子さんに対しては、3項目すべてにおいて計画をたてています。就園済の単独クラスのお子さんに対しては、親御さんや所属先より聞き取りをし、「本人支援」において項目をしぼり計画を立てています。家族支援は連絡帳・メール・送迎時のお話・面談にてとり組み、地域支援は連携という形で行っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	19			1		職場一同、計画を意識して支援に取り組んでいます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	20				①制作活動などは、いつも季節や行事を織り込んだ、工夫されたものとなっています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9		3	8		親子クラスを除いては、すでに所属先があるお子さんばかりなので、とくにこちらでは行っていません。

	チェック項目	①はい	②どちらともいえない	③いいえ	④わからない	<ご意見> ①=「はい」に対するご意見 ②=「どちらともいえない」に対するご意見 ③=「いいえ」に対するご意見 ④=「わからない」に対するご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	20					契約時の説明となるため、その後確認のお手紙を出し、周知が必要なことも少なくありませんでした。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	18	1		1	②申し訳ありません「ガイドラインのねらい」があったかどうか覚えていません。	面談や契約時はお子さんの様子、ここへの要望、利用方法をメインに聞き取るため、「児童発達支援」のガイドラインについては説明をしていませんでした。面談、契約時、できたら保護者会等で説明をし、国の方針としてどのような目的をもった施設なのかも伝えていきます。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	14	2		4	①療育相談の際や、先生方との会話のなかで家庭での支援方法についてもアドバイスいただきました。 ②療育のまとめで粗大運動の点数が3と低くそこまで苦手だと思っていなかったため、今まで過程でできる運動や支援なども教えていただけると良かった。 ④いつも相談にのってくださり、面談もあり、よかったです、ペアレントトレーニングに入るのかよくわからないのでここにしました。	ペアレントトレーニングは今年度は行うことができず、一度保護者学習会を行えたのみであった。次年度は希望を募り、行っています。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	3			②コミュニケーション能力、集団活動の向上が目的であったのでお友達同士では具体的にどのような様子であるのか(やりとりなど)聞けると良かった	子ども同士のやりとりの様子も伝えていきます。 ”最近”どう?という形で声をかけ、悩み事等を話せるきっかけを心がけています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	18	2			②保護者に対して支援や面談より就学に向けての支援内容(特性など)を学校に提出して下さったりと、小学校生活が安心して迎えられた		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	11	2	1	5		親子クラスでは、親子分離の座談会を行い、保護者同士のつながりづくりも出来たが、それ以外ではそのような機会をつくることが出来なかった。今年度は取り組みたい。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	18	2			①気軽に相談ができ、わかりやすくアドバイスしていただけるので、安心して利用できています。	送迎時にはゆっくり話せなかった時や、申し出があった際は、電話、面談で時間をとって対応しています。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	19	1			①言葉が分からないときは、絵カードを見せて伝えようとしてくれました。 ①連絡帳等で情報共有し合い、子供の様子が知れて嬉しいので毎回楽しみにしています。		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	17	2		1	②申し訳ありません。閲覧したことがありませんでした。	毎月おたよりを発行し、予定や献立を把握してもらえるようにしています。おたよりはHPのブログにも挙げています。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	18			2		契約時に説明をし、メモ等をシュレッダーをかけること、個人情報はカギ付書庫に入れてあることを伝えていきます。	
	非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	14	1		5	①音に敏感でパニックになりやすいため、訓練を実施することで、流れが少しずつ身に付き、落ち着いて行動できると良いと思います。 ②マニュアルの策定は、丁寧にされていてわかりやすい印象。訓練はわからない。	ケガで緊急時対応を行った際は、マニュアルの説明を含めて行っています。
		21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	14			6	④単独クラスの場合、避難訓練がどの様に行われているか、また緊急時の保護者の対応についても知っておきたいです。	避難訓練は行っているが、引き取り訓練までは未設定。その後の保護者対応や施設内の職員の動き等が設定されていないため、早急に作成し、とりくみます。
	満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	18	1	1		①毎週楽しみにしているため、曜日を意識するようになりました。 ①毎週まーぶるさんの日をすごく楽しみにしています。毎回飽きさせないプログラムで本人も真剣に取り組んでいるようで少しずつ感情コントロールできるようになってきて、非常に満足しています。 ②まだ単独クラスが始まったばかりで、はじめは泣いてしまうため、徐々に慣れて楽しめると思います。	引き続き、お子さんが楽しみに通うことが出来るよう、職員一丸となり取り組んでいきます。
		23 事業所の支援に満足している	19	1			①「できた」経験がたくさん積めて自信を持つことができ日に日に変わっていく姿がみられました ①子供の特性を知る事で、向き合う事ができました。	